

# 令和6年度 事業計画

## 1 中長期計画に基づく着実なシルバー事業の推進

令和2年の初頭から日本にも上陸し、流行の波を繰り返しながら猛威を振るっていた新型コロナウイルス感染症ですが、昨年5月には5類に移行し、ようやく収束しつつあります。しかしながら、コロナが社会に与えた影響は大きく、元の状況に戻ることは難しいとも言われております。具体的には、社会では少子高齢化がさらに進むとともに、デジタル化の進展や働き方の見直しなどの変化のスピードが激しくなっており、シルバー人材センターについてもアフターコロナの新しい時代に即した事業展開が求められています。

当センターにおいては、令和5年度に「文京区シルバー人材センター中長期計画」を策定し、その目標達成に向けて事業を推進してまいりました。

就業開拓の分野では、文京区から受注している既存事業を拡充したほか、新たに、傾聴ロボット事業や包丁研ぎなど地域貢献事業を新規実施いたしました。また、会員拡大に向けては、地下鉄駅への広告看板の掲示など様々な手法による広報活動を展開しました。さらに、安全就業の確保のために安全管理委員会の機能を強化し、安全巡回の拡充や体力測定の新規実施など、事故の防止に向けて様々な対策を講じました。こうした取組が実を結び、5年度も会員数及び契約実績は引き続き増加し、過去最高を更新しております。

今年度も引き続きこの傾向を堅持するとともに、会員の希望に添えるような就業先の開拓に取り組んでまいります。

本区の特色である教育機関へのアプローチなどにより新規業務の獲得を目指してまいります。またリニューアルされたホームページを有効に活用し、会員及び区民の皆さんに適切な情報発信を行ってまいります。さらに昨年の記録的猛暑を踏まえ、安全就業についても積極的に取り組んでまいります。

以上のことを踏まえ、令和6年度も「会員の拡大」、「就業機会の確保」、「安全就業の徹底」を三本の柱として、「文京区シルバー人材センター中長期計画」の目標達成に向け事業を着実に実施することで、働くことを通じて高齢者の生きがいと健康づくりをすすめ、活力ある地域社会づくりに貢献することを目指し、令和6年度予算を編成いたします。

事業の実施にあたっては、PDCA サイクルの手法を活用するなど、不断の見直しに努め、効果的で効率性の高い予算執行に努めてまいります。

## 2 令和6年度基本方針と主な事業目標

次のとおり、(1)基本方針(2)主な事業目標(3)事業実施計画を策定し、関係機関等の協力を得ながら、会員の総力を挙げて事業を実施します。

### (1)基本方針

#### ① さらなる会員の確保

シルバー世代対象という組織の特性上、毎年一定数の退会者が発生します。センターが持続的に事業展開を図る上でも会員の維持・確保は最重要課題となります。近年、会員の増加傾向は続いておりますが、まだ1,400人を超えた段階であり、文京区の60歳以上の人口55,595人(令和6年1月現在)から考えると、まだまだ、会員拡大の余地はあります。

### (主な事業)

#### (1)広報媒体の見直し

新たなシルバー世代に向けた広告媒体を検討します。

- ・ リニューアルしたホームページの活用
- ・ 新たな広報手段の検討

#### (2)継続的な広報活動の充実

効果が高かった広報活動を継続し、改善点の検討を踏まえ、実施します。

- ・ 区報等の活用
- ・ 駅前広告の年間掲載
- ・ 新規会員獲得を目指したセミナー・講座の検討実施
- ・ 入会キャンペーンの継続的な実施および改善

#### (3)その他

- ・ 女性会員を意識した広報活動等の検討
- ・ 会員向けイベントの開催による退会抑制

#### ② 就業機会の拡充と就業の質の向上

就業の拡充と会員の確保は、両輪として進めていく必要があります。本センターは、公共と民間の業務比率がほぼ半々の状況ですが、引き続き行政機関に仕事の発注を働きかけるとともに、民間についても会員が希望する業務を開拓していきます。また、シルバーお助け隊事業など、地域課題の解決に資する事業も積極的に行なっていきます。

これまでの会員の努力により、当センターは地域や発注者からの信頼を積み上げ、着実に規模を拡大してきました。引き続き会員一人ひとりの技術の向上

を図り、継続的な発注を確保するとともに、地域のニーズに応えていきます。

(主な事業)

(1) 行政向け事業の拡充

行政は、シルバー人材センターにおける最も重要な就業先です。PR の強化を図り新たな就業先の確保を目指します。

- ・ 区立小中学校関連業務の拡大
- ・ 区に対する派遣事業の PR 活動強化
- ・ デジタル活用推進事業の拡充
- ・ その他行政機関への仕事の発注の働きかけ

(2) 民間事業者の新規開拓

企業ニーズを把握し、地域への貢献や会員の皆様が望む仕事を開拓します。

- ・ 区民や企業のニーズ把握
- ・ 関係機関等と連携した民間就業先の開拓
- ・ 文京区の特性を生かした就業開拓
- ・ 顧客満足度調査の実施
- ・ Web を利用した依頼方法の検討

(3) 就業の質の確保と向上

就業希望の会員の希望職種の把握、また就業会員の能力向上を目的に研修やアンケートを実施します。

- ・ 各種研修会への参加促進
- ・ 就業相談会の改善
- ・ 会員向けアンケートの実施

③ 安全を意識した就業

「安全・安心なシルバー事業」の確立を図ることは、シルバー事業遂行の根幹をなすものです。そこで、「安全はすべてに優先する」をスローガンに、組織を挙げて安全対策のより一層の推進を図り、重篤事故、傷害事故の撲滅及び健康の確保を図ってまいります。

(主な事業)

(1) 組織的な安全管理の強化

各就業における安全管理体制を委員会が中心となり、改善を図ります。

- ・ 安全管理委員会活動の活性化
- ・ 安全就業パトロールの実施
- ・ 仕事別安全就業マニュアルの作成

(2) 会員向け研修の強化

1人KY活動やフレイル予防、コロナ対策など就業時に起こりうる事故を防止すべく研修を強化します。

- ・ 会員向け体力測定の実施
- ・ 安全に関する各種講座の実施
- ・ 感染症防止対策の徹底

④ 運営基盤の強化

組織運営において、法令遵守等による業務体制管理は欠かすことはできません。適切な運営を継続していくためには、理事会をはじめとした各委員会が円滑に機能していることが重要です。また、シルバー人材センターに関する新たな法令に対応できるよう、安定した事務局運営を心がけます。

(主な事業)

(1) 各委員会の継続実施および改善

各委員会を継続実施し、機能の充実を図ります。

- ・ 理事会の開催の充実
- ・ 各種委員会の開催

(2) その他

- ・ 財政の安定化 公認会計士の指導助言
- ・ インボイス制度やフリーランス新法への対応
- ・ 職員の能力の向上

## 主な事業目標

### 1 請負事業

区 分	令和6年度目標	令和5年度実績
年度末の正会員数	1,440人	1,390人
就業実人員	1,100人	1,012人
会員の就業率	76.4%	72.8%
就業延日人員	107,000人日	104,700人日
受託契約件数	7,630件	7,430件
受託契約金額	4億7,300万円	4億6,253万円
配分金額	4億2,720万円	4億1,555万円

### 2 派遣事業(東京しごと財団実施分)

区 分	令和6年度目標	令和5年度実績
登録会員数 (正会員の内)	330人	323人
就業実人員	204人	197人
会員の就業率	62%	61%
就業延日人員	9,700人日	9,653人日
受託契約件数	68件	62件
受託契約金額	6,157万円	5,951万円
賃金	4,662万円	4,613万円

## 令和6年度 事業実施計画

### (1) 高齢者の就業に関する情報の収集及び提供

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
会員募集説明会	平日2回	事務局窓口 平日午前10時・午後2時 (ホームページによる事前予約の検討)
「公益シルバーぶんきょう」の発行	年3回	6月、9月、1月頃に発行し全会員配布
「会員向け会報紙」の発行	年3回	5月、9月、1月
「区報ぶんきょう」に掲載	年2回程度	センター周知記事掲載
リーフレットの配布	随時	役職員、会員が区施設、各種イベント等で配布
ポスターの掲出	随時	区設掲示板、区施設等に掲出
Web媒体による情報提供	随時	文京区シルバー人材センターホームページ SNS等によるイベントPR
文京区コミュニティバスの車内アナウンス	通年	シビックセンター前を運行するバスB-ぐる4路線
募集広告(会員募集・就業開拓)	年3回	高齢者の加入促進・就業機会拡大のためのPR ・区役所関連業務に派遣事業をPR ・ポスティングの活用 ・駅中広告の掲出 ・B-ぐるバスサイネージ動画放映 ・ホームページのコンテンツの充実 ・郵便局内会員募集ポスター掲示 ・朝日信用金庫内会員募集スライド放映 ・スマートフォン及びYouTube等を活用したPR強化 ・会員紹介キャンペーン、新規入会キャンペーンの実施
会員募集説明会	随時	・パンフレットの刷新 ・高齢者施設就業前講座 ・文京区町会等高齢者の加入促進PR
PR活動	随時	・電子ディスプレイ(デジタルサイネージ)設置により文京SCのイメージ向上PR活動 ・区イベント等への参加

### (2) 高齢者の就業に関する調査研究

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
会員現況調査	年1回	未就業会員意向現況調査実施
就業会員実態調査	年1回	就業会員実態調査実施
労働者派遣事業	年3回	一般労働者派遣事業の実施による調査
介護施設・保育施設お助け隊事業	年3回	お助け隊事業の実態調査
定期健康診査受診と報告	年1回	全会員
センター事業の調査研究	随時	理事会、総務事業委員会、安全管理委員会等

### (3) 高齢者の就業に関する相談

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
入会希望者相談	入会申込時	事務局窓口
高齢者の仕事相談	随時	事務局窓口(タッチパネル就業案内の活用)
就業者相談会	年4回	役職員(就業上のトラブルや悩みの相談)

## (4) 希望と能力等に応じた就業機会の開拓及び提供

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
継続就業希望及び職種変更相談	年1回	継続希望会員
継続就業調整会議	1月	担当役職員による継続就業職種への配置調整
深耕開拓（既存契約の掘り下げ）	随時	会員、職員 ・文京区役所内業務の派遣による事業拡大 ・「区内大学等の教育機関」「介護施設」「保育施設」を対象に派遣事業を拡大
刃物研ぎ	随時	拡大に向け、広報活動の強化

## (5) 講習会、研修の実施及び参加

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
新入会員研修	年4回程度	新入会員
役員研修	年1回以上	理事及び監事
職員研修（しごと財団研修）	年1回以上	事務局職員
就業支援講習（しごと財団研修）	3コース程度	植木剪定、家事援助、襖・障子張替え等
交通安全講習会	年1回	交通指導グループ会員
接遇・技能等自主研修会	年1回以上	各仕事別グループ内でリーダー・サブリーダー等が中心となり、接遇及び技能等の向上を図る。
安全管理等講習会	随時	AED等講習会、自転車安全利用講習会、その他安全に係る講習会等
体力測定等講習会	年1回	体力測定の実施及び講習会等
キャリアアップ研修	年1回以上	派遣事業従事者
その他の講習会、研修会	随時	役員、会員、事務局職員等 ・会員がもつスキルの効果測定の実施 ・パソコン・スマートフォンを活用するための研修 ・スマートフォン相談窓口 ・草木染めワークショップ物教室、Line教室、いきいき美容教室

## (6) その他の事業

## ① 会員の自主・自立的な組織活動

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
定時社員総会	年1回	法令、定款等に基づく事項の決議
理事会	年12回	センターの業務執行の決定等
三役会	年10回	センターの業務執行の推進等
会計監査	年4回	監事
総務事業委員会	年10回	理事会議題調整等
女性委員会	年5回	女性会員の能力、特性等の活用による就業検討等
安全管理委員会	年6回	安全対策実施計画の策定及び推進
班長会	年3回	4地区34地域
地区全体会	年1回以上	4地区で開催
地区理事・代表班長・班長との連絡会	年1回以上	4地区で開催
仕事別グループリーダー・サブリーダー会	年2回	学校受付管理（学校安全対策）、児童館等13グループ
仕事別グループ全体会	年1回以上	学校受付管理（学校安全対策）、児童館等13グループ

仕事別グループ担当理事・リーダー・サブリーダーとの連絡会	年1回以上	13グループで開催
福祉・家事援助サービスの推進	年3回	女性委員会を中心に福祉・家事援助サービス事業担当会員交流会を開催し、情報の共有化及び課題解決に向けた協議
その他の会議	随時	

② 自主的組織活動への助成

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
地区地域班、仕事別グループ助成	随時	会場使用料、会議費、通信費等の助成
班長、リーダー等への活動補助	随時	代表班長・班長、リーダー・サブリーダー
みまもり訪問事業ボランティア	年間	社会福祉協議会事業が実施する75歳以上の高齢者への定期訪問等見守りに協力する。
東京大マラソン祭り2025	年1回	沿道における通行人誘導ボランティア

③ その他

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
シルバーお助け隊（区補助事業）	年間	70歳以上の高齢者のみ世帯、障害者のみ世帯
買い物支援おたがいさまサービス事業（区補助事業）	年間	介護予防・生活支援サービス事業対象者
前期高齢者がサービスの担い手となるようはたらきかける事業（区補助事業）	年間	福祉施設
他団体との協力	年間	文京区役所、文京区町会連合会、文京区高齢者クラブ連合会、（公社）全国シルバー人材センター事業協会、（公財）東京しごと財団、第二ブロックシルバー人材センター、ハローワーク、（社福）文京区社会福祉協議会等
事務局体制の整備	年間	就業専門員の活用、公認会計士による内部統治（ガバナンス）